2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月30日

上場会社名　　サンワテクノス株式会社　　上場取引所　　東
コード番号　　8137　　ＵＲＬ　https://www.sunwa.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）松尾　晶広
問合せ先責任者　（役職名）取締役上席執行役員　管理本部長　（氏名）的場　孝成　ＴＥＬ　03-5202-4011
半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日 2026年12月1日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有 （アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	88,997	28.3	3,211	119.2	3,231	82.7	2,217	83.7
2026年３月期中間期	69,380	△0.1	1,464	△11.2	1,768	5.2	1,207	△5.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　4,552百万円 （－%）　2026年３月期中間期　46百万円 （△97.9%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	142.22	－
2026年３月期中間期	79.42	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	108,689	56,981	52.2
2026年３月期	101,386	53,124	52.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　56,721百万円　2026年３月期　52,856百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	60.00	－	62.00	122.00
2027年３月期	－	70.00			
2027年３月期（予想）			－	70.00	140.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	28.1	7,640	88.2	7,900	65.4	5,500	68.4	352.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	16,044,000株	2026年３月期	16,044,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	415,961株	2026年３月期	488,901株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	15,591,579株	2026年３月期中間期	15,202,536株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算発表補足資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

また、当社は2026年11月24日（火）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（連結範囲の重要な変更に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
３．補足情報 …… 10
（１）仕入、受注及び販売の状況 …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、物価上昇が続く中、ＡＩ関連需要の拡大継続による製造業の景況感改善や、企業の底堅い設備投資に支えられ、緩やかな回復基調が続きました。世界経済も同様に、ＡＩ関連需要の拡大が続いております。一方で、地政学的リスクや資源価格の高騰、通商政策の動向への懸念も残ります。

当社グループが関連する産業用エレクトロニクス・メカトロニクス分野においては、ＡＩ関連需要の拡大が続いていることから、半導体製造装置業界をはじめ各業界からの需要が堅調に推移しております。また、人手不足を背景とした省力化・効率化投資も続いております。加えて、脱炭素化に向けた再生可能エネルギー関連投資の増加を背景に電力系統の安定化の需要が高まり、蓄電池システム関連の大型案件も継続して発生しております。

このような環境の中で当中間連結会計期間の業績は、売上高889億97百万円（前年同期比28.3％増）、営業利益32億11百万円（前年同期比119.2％増）、経常利益32億31百万円（前年同期比82.7％増）、親会社株主に帰属する中間純利益22億17百万円（前年同期比83.7％増）となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

［電子コンポーネント部門］

電子コンポーネント部門では、半導体業界における設備投資の活発化を背景に、半導体製造装置業界向けの電子部品の販売が増加しました。また、半導体製造の需要増加により、ＦＡ業界向けの電子部品の販売が増加しました。加えて、新規案件の獲得により、社会インフラ業界の液晶ディスプレイの販売が増加しました。この結果、当部門の売上高は521億32百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

［制御デバイス部門］

制御デバイス部門では、半導体業界における設備投資の活発化を背景に、半導体製造装置業界向けのサーボモータ、制御盤の販売が増加しました。また、データセンター関連市場の好調を背景に、マウンター業界向けのサーボモータの販売が増加しました。この結果、当部門の売上高は194億81百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

［産業用ＰＣ部門］

産業用ＰＣ部門では、半導体業界における設備投資の活発化を背景に、半導体製造装置業界向けの産業用ＰＣの販売が増加しました。また、新規案件の獲得により、社会インフラ業界向けの産業用ＰＣの販売が増加しました。この結果、当部門の売上高は59億22百万円（前年同期比45.2％増）となりました。

［ＦＡソリューション部門］

ＦＡソリューション部門では、半導体業界における設備投資の活発化を背景に、半導体製造装置業界向けの検査装置の販売が増加しました。また、再生可能エネルギーの需要拡大を背景に、太陽光関連業界向けの蓄電池システムの販売が増加しました。この結果、当部門の売上高は114億61百万円（前年同期比72.5％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

①　日本

国内では、半導体業界における設備投資の活発化を背景に、半導体製造装置業界向けの電子部品、サーボモータ、制御盤、産業用ＰＣ、検査装置の販売が増加しました。また、半導体製造装置の需要増加により、ＦＡ業界向けの電子部品の販売が増加しました。加えて、再生可能エネルギーの需要拡大を背景に、太陽光関連業界向けの蓄電池システムの販売が増加しました。この結果、売上高698億81百万円（前年同期比30.1％増）、営業利益22億60百万円（前年同期比134.9％増）となりました。

②　アジア

アジア地域では、半導体業界における設備投資の活発化を背景に、半導体製造装置業界向けの電子部品、サーボモータ、センサーの販売が増加しました。また、主要顧客の生産増加を背景に、ＦＡ業界向けの電子部品の販売が増加しました。また、新規案件の獲得により、社会インフラ業界向けの電子部品の販売が増加しました。この結果、売上高280億10百万円（前年同期比28.3％増）、営業利益９億27百万円（前年同期比117.9％増）となりました。

③　欧米

欧米では、自動車関連業界向けの設備機器の販売が増加しました。一方、市場低迷の影響により、ＦＡ業界向けの電子部品の販売が減少しました。この結果、売上高33億９百万円（前年同期比9.5％増）、営業利益10百万円（前年同期比28.7％減）となりました。

④　その他

売上高４億58百万円（前年同期比21.1％増）、営業利益32百万円（前年同期比62.8％増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産合計は、1,086億89百万円となり前連結会計年度末に比べ73億３百万円増加しました。受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権、投資有価証券の増加が主な要因であります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債合計は、517億８百万円となり前連結会計年度末に比べ34億45百万円増加しました。電子記録債務、長期借入金、繰延税金負債の増加が主な要因であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は、569億81百万円となり前連結会計年度末に比べ38億57百万円増加しました。利益剰余金、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加が主な要因であります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ38億77百万円減少し、202億12百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は43億67百万円となりました。これは主に、売上債権の増加（50億71百万円）、棚卸資産の増加（21億24百万円）、法人税等の支払（８億10百万円）等による減少がある一方で、税金等調整前中間純利益（32億31百万円）等により一部増加したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は７億53百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（５億37百万円）、投資有価証券の取得による支出（２億３百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は５億68百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額（５億84百万円）、長期借入れによる収入（10億円）による増加がある一方で、配当金の支払（９億64百万円）等により一部減少したものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における連結業績につきまして、2026年５月８日に公表の予想数値を上回る水準で推移しており、当第２四半期累計期間実績及び直近の受注動向を踏まえ、通期連結業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（2026年10月30日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,591	20,714
受取手形、売掛金及び契約資産	38,018	40,979
電子記録債権	8,182	10,954
商品	12,636	15,047
仕掛品	39	25
その他	5,373	5,661
貸倒引当金	△138	△159
流動資産合計	88,703	93,222
固定資産		
有形固定資産	2,306	2,870
無形固定資産		
のれん	582	517
その他	140	115
無形固定資産合計	722	632
投資その他の資産		
投資有価証券	7,990	10,347
その他	1,832	1,793
貸倒引当金	△169	△176
投資その他の資産合計	9,652	11,964
固定資産合計	12,682	15,467
資産合計	101,386	108,689
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,872	22,953
電子記録債務	8,998	10,694
短期借入金	4,751	5,321
未払法人税等	796	1,021
引当金	－	62
その他	3,788	4,951
流動負債合計	43,207	45,005
固定負債		
長期借入金	3,000	4,000
繰延税金負債	1,197	1,830
長期未払金	51	51
役員退職慰労引当金	64	68
退職給付に係る負債	309	326
その他	431	425
固定負債合計	5,054	6,702
負債合計	48,262	51,708
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,727	3,727
資本剰余金	3,924	4,063
利益剰余金	37,204	38,457
自己株式	△880	△749
株主資本合計	43,975	45,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,040	5,432
為替換算調整勘定	4,839	5,790
その他の包括利益累計額合計	8,880	11,222
非支配株主持分	267	260
純資産合計	53,124	56,981
負債純資産合計	101,386	108,689

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	69,380	88,997
売上原価	59,789	76,147
売上総利益	9,590	12,850
販売費及び一般管理費	8,125	9,639
営業利益	1,464	3,211
営業外収益		
受取利息	74	69
受取配当金	88	99
仕入割引	18	26
受取家賃	74	78
保険解約返戻金	84	－
その他	70	67
営業外収益合計	410	340
営業外費用		
支払利息	73	90
売上債権売却損	22	59
為替差損	1	163
その他	7	7
営業外費用合計	106	320
経常利益	1,768	3,231
税金等調整前中間純利益	1,768	3,231
法人税等	561	1,021
中間純利益	1,207	2,210
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	－	△7
親会社株主に帰属する中間純利益	1,207	2,217

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	1,207	2,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147	1,391
為替換算調整勘定	△1,308	950
その他の包括利益合計	△1,160	2,342
中間包括利益	46	4,552
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	46	4,559
非支配株主に係る中間包括利益	―	△7

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,768	3,231
減価償却費	180	201
のれん償却額	－	64
貸倒引当金の増減額（△は減少）	20	27
受取利息及び受取配当金	△162	△169
保険解約損益（△は益）	△84	－
支払利息	73	90
為替差損益（△は益）	△16	△20
売上債権の増減額（△は増加）	1,568	△5,071
棚卸資産の増減額（△は増加）	599	△2,124
仕入債務の増減額（△は減少）	1,592	△881
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△1,425	△62
その他の負債の増減額（△は減少）	60	1,059
その他	△253	39
小計	3,923	△3,615
利息及び配当金の受取額	141	147
利息の支払額	△73	△89
法人税等の支払額	△373	△810
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,618	△4,367
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21	△537
投資有価証券の取得による支出	△6	△203
保険積立金の解約による収入	165	－
その他	△231	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93	△753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△666	584
長期借入れによる収入	－	1,000
リース債務の返済による支出	△50	△52
自己株式の取得による支出	－	△0
配当金の支払額	△1,062	△964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,780	568
現金及び現金同等物に係る換算差額	△690	675
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,054	△3,877
現金及び現金同等物の期首残高	22,869	24,089
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	361	－
現金及び現金同等物の中間期末残高	24,285	20,212

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結範囲の重要な変更に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前中間純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,557	18,778	2,676	69,012	367	69,380	－	69,380
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,138	3,048	346	9,533	11	9,544	△9,544	－
計	53,695	21,827	3,023	78,545	378	78,924	△9,544	69,380
セグメント利益	962	425	14	1,403	20	1,423	41	1,464

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額41百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び棚卸資産の調整額25百万円が含まれております。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

前中間連結会計期間に株式会社エムテックの株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社アレックスエンジニアリングを連結の範囲に含めたことにより、「日本」セグメントにおいてのれんが647百万円増加しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	62,012	23,574	2,977	88,565	432	88,997	－	88,997
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,868	4,435	332	12,636	26	12,662	△12,662	－
計	69,881	28,010	3,309	101,201	458	101,660	△12,662	88,997
セグメント利益	2,260	927	10	3,199	32	3,232	△20	3,211

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△20百万円には、セグメント間取引消去18百万円及び棚卸資産の調整額△39百万円が含まれております。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．補足情報

（１）仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当中間連結会計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	前年同期比（%）
日本（百万円）	58,062	131.5
アジア（百万円）	19,071	144.2
欧米（百万円）	1,148	101.2
報告セグメント計（百万円）	78,282	133.8
その他（百万円）	261	107.4
合計（百万円）	78,543	133.7

②受注状況

当中間連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 （百万円）	前年同期比（%）	受注残高 （百万円）	前年同期比（%）
日本	89,634	175.1	67,735	196.7
アジア	28,717	154.5	18,246	151.4
欧米	3,117	128.1	2,153	104.3
報告セグメント計	121,469	168.3	88,135	181.5
その他	352	71.8	195	43.7
合計	121,822	167.6	88,331	180.3

③販売実績

当中間連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	前年同期比（%）
日本（百万円）	62,012	130.4
アジア（百万円）	23,574	125.5
欧米（百万円）	2,977	111.3
報告セグメント計（百万円）	88,565	128.3
その他（百万円）	432	117.6
合計（百万円）	88,997	128.3

（注）セグメント間の取引については相殺消去しております。